

別紙 1

## 論文審査の要旨

報告番号	㊦・乙 第 2821 号	氏 名	川口 顕一郎
論文審査担当者	主査 内田 直樹 教授		
	副査 宮崎 章 教授		
	副査 小林 一女 教授		
(論文審査の要旨)			
<p>本論文は、生活習慣病モデルラットの大動脈弓血管壁における Gremlin の役割を解明したものである。</p> <p>生活習慣病モデルラットは、自然発症高血圧高脂血症ラット (SHHR) に、高脂肪食・30%ショ糖液 (HFDS) を 4 ヶ月間自由摂取させたものを用いた。以前の研究により SHHR-HFDS の大動脈弓血管壁において、Bone morphogenetic protein (BMP) のアンタゴニスト である Gremlin2 の発現量が有意に高値を示すことを明らかにされていた。しかしながら、Gremlin が血管壁の線維化にどのような役割を果たしているのかは不明であった。</p> <p>本論文により、生活習慣病モデルラットの大動脈弓血管壁において、Gremlin の増加が、BMP シグナル抑制、 トランス フォーミング増殖因子-βシグナル促進を促した。その結果、Gremlin が大動脈血管壁の繊維化の一因を担う事が明らかにされた。このことは新知見であり、学術上価値があるものと判断した。</p>			
論文題名 : Role of Gremlins in the aortic arch of spontaneously hypertensive and hyperlipidemic rats (自然発症高血圧高脂血症モデルラットの大動脈弓における Gremlin の役割)			
掲載雑誌名 : THE SHOWA UNIVERSITY JOURNAL OF MEDICAL SCIENCES vol.28 No.2 2016 年掲載予定			